

初めてのチェンマイ訪問

関西支部 No.1308 上埜 俊彦

《訪問までの経緯》

「南国暮らしの会」に入会したのは、5年ほど前です。まだ、現役サラリーマンで営業をしていたのでとてもすぐに海外へのロングステイ、ショートステイは無理だとは思っておりましたがとにかく1度は経験したいということで、妻と2人で当時のKL支部長を頼って訪問したのが3年ほど前のことでした。4-5日間の短期滞在でした。

それでも、この会のおかげで来ることが出来たのだと実感いたしました。

昨年4月に現役引退、同時に関東支部から関西支部へと転籍いたしました。

【例会での講義が直接のきっかけに】

関西支部の例会には、身辺が落ち着き始めて6月くらいから参加しました。

そして、10月の例会。プログラムの中に『チェンマイへ行かれる方のために』というものがあ、同じ関西支部の大川さんが詳しくより具体的に訪問滞在要領を紹介してくださいました。これなら初めてでも、1人でも行けるかも知れないと思、妻の了解も得たので、例会から2日後には航空券、宿舎の手配をしいづれも完了しました。

『いよいよ感動とサプライズと失敗の旅の始まりです。』

【情報入手】

出発前に、南国メールから同時期にチェンマイを訪問されている方のメールを抜き持参しました。また、事前に訪問のメールを支部長様他に発信したところ、同じ支部の木村様ご夫妻より連絡をいただき「何でも相談に乗るよ」とのことであり非常に心強く感じました。結果として滞在中最も面倒を見ていただきお世話になりました。

タイ航空にてバンコクスワンナプーム乗り継

ぎチェンマイ空港行きで出発しました。

時差に慌てたり焦ったり

当日乗り継ぎで、スワンナプーム到着朝5時、チェンマイへの出発時間は朝7時50分。少し早いと思ったが、パスポートコントロールセンターに6時半頃到着、7時になっても閉まったまま。付近の空港スタッフに身振り手振りで聞いても「クローズ、ウェイト」を繰り返すだけ。周りに日本人もいなくて、焦っていらいました。

何のことはない、バンコクに着いた時点で時差2時間、日本での案内時間の7時50分ではなく9時50分でした。結局約5時間待ち、ほっとしましたがチェンマイ到着前はかなり疲れしました。

チェンマイ空港に到着後、レジメ通りタクシーを使って今回の滞在先「ヒルサイドコンド4」に到着しました。関西国際空港でバーツに両替したものの10バーツが無く空港スタンドでコーヒーを飲んで両替しタクシーを待ったので結局は昼前のチェックインとなりました。

【チェンマイでの生活のスタートです。】

11月10日から28日までの滞在です。

今回のチェンマイ訪問のミッションは大きく3つ。

- ① チェンマイ生活を事細かく、また街の様子等も妻に報告すること。
- ② 妻が興味を持っているタイ式マッサージのスクールを訪問し直接情報を得ること。
- ③ リハビリを兼ねてゴルフ・水泳・ウォーキングをすること。寺院を訪ねること。

これらをクリアすることにより、次回以降の訪チェが可能になります。

①をクリアするために、毎日日記を書くことにしました。

そして、ロングステイされている方からのアドバイスもあり（ドゥワンタワンホテルでの例会参加時）とにかく歩いて地理を覚えることにしました。

携帯購入に困りました。

到着後、支部長さん、木村さんご夫妻への連

絡を取りたく携帯を購入すべく、ガートスアンケーオ（通称センターン）に行きましたが、日本語はおろか片言の英語も通じず購入出来ずじまい、しかも既に午後2時頃空腹に耐えかね地下でチキンカレーのようなものを食べました。これが最初のチェンマイでの食事で連絡することが気にかかり味わう余裕はありませんでした。食事をしながら、宿舎斡旋業者（ヒロプロジェクト）に行けば何とかなるかもと思い明日の支払予定（宿舎代）を早めて食事もそこそこに駆けつけました。救いの神はいるもので（仏教の国ですが）そこで働いている従業員の方に事情を話すと、携帯購入のためにセンターンまで同行してくれ購入までしていただきました。

助かりました。6ヶ月前から働いている佐々木さんという人でした。

滞在初日から大感動

木村さんご夫妻に連絡したところ、早速食事に誘われ、しかも今日食事の後「コムロイ」を観に行こうと声をかけていただきました。

既にこのような行事は終わっていたかと思っていたのですが、ピン川流域で上がっているとのことでした。川面では日本の精霊流しに似た行事が行われており空には一面にコムロイが上がっています。また、パレードも行われており一大イベントに初日から遭遇しました。最後には、一緒にコムロイに火をつけ空に放ちました。まさかの感激でした。

気が付けば、既に午後9時は過ぎていました。『明日ゴルフしようよ。』と誘っていただきました。



10年ぶり感激のゴルフ

50歳のころ、椎間板ヘルニアを患いました。手術をしてもよくなる見込みはあまりなくヘルニアとのお付き合いが始まりました。右足のしびれは今でもあり、時折電気が走ってピリピリします。その時以来、ゴルフ・ボーリング・アイススケート等スポーツはやっておりませんでした。今回、リタイアして時間にゆとりも出来たのでリハビリを兼ねてゴルフを試してみようと思いました。

木村ご夫妻とその友人の方々とラウンドしました。ランナーゴルフ場で、チェンマイで初めてクラブを握りました。ボールが前に飛び何とかプレーすることが出来ました。感激しました。と同時に他のプレーヤーの方には足手まといとなり随分ご迷惑をお掛けしました。ここでは、カートに乗らずキャディさんと一緒に歩いてラウンドするので不安でもありましたがリハビリには丁度よくこのスタイルが気に入りました。滞在中に4回プレーをしました。

【ありがたかったタイ語の勉強会】

2日目（金曜日）ゴルフから戻って、ヒルサイド4（私の滞在している宿舎）の1階で開催されているタイ語の勉強会に参加しました。出発前より、メールにて会のあることは把握しておりました。

東海支部の横井さんが講師となり、毎週火曜日と金曜日の午後3時より約2時間実施されました。ちょうど、私がチェンマイに滞在中とほぼ同じ期間横井さんも滞在されていたので、ほとんどフルに勉強会に参加することが出来ました。10名前後の会のメンバーとともに、笑い半分真剣さ半分の楽しくて為になる勉強会でした。

教わったことを早速試して納得したり、通じなくて首をかしげたり。

違う場所に着いてしまいました。発音？

—数日後のことですが—

土産を買いに行こうとソンテウに乗り（ターペー門付近で）『チェンマイランド』とコール

し乗りこみました。まだ、日が浅く車窓からはどこを走っているかは検討が付きませんでした。ソテウが止まり、20バーツを渡して建物の中に入りましたが、なんだか雰囲気は怪しかったので後ずさりしながら中の様子をうかがいました。大勢の人が長椅子に座っており受付カウンターとナースのような服装をした人たちが大勢立っていました。そこは[チェンマイラム病院]でした。発音が悪くそのように聞こえたのかも知れません。ターペー門から乗って一回りをして、歩き始めたセンターンにまた戻って来てしまいました。

【初めての例会出席】

チェンマイに来て3日目に11月例会があり、出席させていただきました。実は、この時が初めて1人で、トクトクに乗った時でした。

『サワデークラブ ドゥワントワンホテル タウライ』で通じたときは、本当に嬉しかったです。山口支部長に挨拶、自己紹介をして席に着きましたが先ず驚いたのは皆様が若いこととお元気なこと。少なくともほとんどの方が私よりは年上のはずですが。さすが南国暮らしの会だなと思いました。また、その時の参加者は40名強でした。まだまだこれから多くなるよと言われて驚きました。多くの先輩方と話をすることが出来、情報も入手出来私にとっては実りのある会でした。

【歩き回りました】

チェンマイの街を覚えようと毎日のように歩き回りました。また、古寺散策が好きであったので、ワットめぐりを日課にしました。よく歩いたなど自分でも思ったのは、①エアポートプラザ②チェンマイ動物園③チェンマイ駅④旧市街外周道路一周等 何れもヒルサイド4からです。

寺院にお参りして時には拝観料？と思いましたが要領を得ず、訪れた寺院すべて無料拝観という結果になりました。ごめんなさい。

大好きな犬なんです…

チェンマイには犬が沢山います。そのほとん

どが首輪をしていない野良犬です。特に寺院には多くいました。狂犬病の注射はしていないとのことでした。基本的にはおとなしくて可愛いのですが、私が行く時間帯(朝・早朝)は元気で追いかけてきたりします。先輩から『昼間は暑いからぐったりしてるけど朝夕は元気だからね。問題はないと思うけど一応気を付けといたほうがいいよ』と言われました。本当に怖いのは飼い犬だそうです。近づくと吠え立ってます。不審者には咬みつくのかも知れません。寺院は滞在中に20か所ほど訪れました。ドイステープは次回訪問の楽しみに取っておきました。

【タイ式マッサージにはまりました】

ミッションの一つ「タイ式マッサージスクールを見学してくる」を実行しました。

《TTC SPA SCHOOL》を訪問し代表者と会って色々な情報を入手しました。帰ったら報告出来ると思いましたが、試しに1度体験してみようと思い宿舎(ヒルサイド4)の1階にあるマッサージを体験しました。足裏マッサージしか経験がなかったのですが、2時間コースを体験してはまってしまいました。後から振り返ってみると20日間ほどの間に、10数回。

ゴルフでマッサージ、ウォーキングでマッサージ、プールの後にマッサージ。料金も極めて安く、はまりました。240-320バーツ(24円-832円)。

【リハビリには水泳も有効でした】

宿舎のヒルサイド4にはプールがあることは事前に分かっておりましたので水着は持参していました。やはり、マッサージ同様10数回毎回約2時間程度泳ぎました。足腰に負担もかからず気分は快適でした。

【食事を楽しみました】

せっかくチェンマイに来ているので出来るだけ現地の食事をするようにしました。

朝食には苦勞しました

「街角の喫茶店で一人モーニング」が一つの憧れでしたが実現しませんでした。長年の仕事の

影響もあり毎朝5時に起きる習性が続いており、お店は開いていません。ほとんど毎日、食パン・スープ・ゆで卵・目玉焼き等自宅で食しました。(無論現地で購入したものです。タイ産です。)

一番の好物は「カオソーイ」です

北部タイの料理ということと麺類が好きであったので飛びつきました。また、辛い物が大好きです。いろいろなところで何度も食べましたがどこで食べても美味しかったという印象です。カオ・ソーイ+チャンビールで140パーツほど。

夕食をご馳走になりました

グリーンヒルに滞在中の川地さんご夫妻に招かれ久々に日本食を食べました。美味かった。ヒルサイド4に滞在中の富崎さん(関西支部)と一緒に邪魔しました。奥様の手作りの食事はさすがに美味しく、2週間ぶりに日本食をいただきましたが感激しました。いろいろとステイに関して教えていただきながら楽しいひと時を過ごしました。

たくさんあります日本食の店

私はあまり利用しなかったですが、ラーメン店・とんかつ・寿司屋・井もの等多くのお店があり、その点は安心できます。

【最後に感動僧侶の大打進】

11月27日(日)朝5時頃から8時ころまで。木村さんご夫妻に誘われ、何人かのメンバーの方々と一緒に見物に行きました。



12,600人の僧侶の行進・托鉢。参加者見物観光客を合わせると数万人はいたと思うが?僧侶は実際には3-4千人くらいかも?

種々のセレモニーの後僧侶が大打進、合図で止まった地点から参加者から供え物を受け取りながらゆっくりと移動していく。そして、それを後ろに控える軍隊に渡す。今回は洪水救済もあるようだ。圧巻でした。

明日、帰国いたします。

【帰国です】

チェンマイ空港で出国審査を受けた後、フライトまで時間があるので空港のレストラン、最後の食事「カオソーイとチャンビール」、さすがに少し高いけれど感慨深く食しました。

スワンナプームでは、乗り継ぎの時間が短くしかも少し遅れて着いたので、ほとんど小走りに移動しました。『1時間ですが、実質40分強』

朝日の中に関西空港が見えてきたとき、日本に帰ってきたんだと思いながら少しほっとしてまた少し短かったかなとも思いました。と同時に近いうちにまた来ようと決めました。今度は2人で。

【ありがとうございました】

1人でこんなにも楽しくチェンマイライフを送れたのは会の皆様の指導と援助があったからこそだと思います。

この紙面をお借りして御礼申し上げます。

山口支部長、加藤総務、ゴルフ幹事の森田様。最初から最後までご面倒をお掛けした関西支部の木村様ご夫妻。タイ語の勉強会を開いてくださった東海支部の横井様。LSについていろいろと教えていただき語った東海支部の川地様ご夫妻。ゴルフ・勉強会としょっちゅう一緒だった東海支部の小鷹ご夫妻。同じヒルサイド4に1人で来られていた関西支部の富崎様。そして、出発までそして出発後も気にしていただいた関西支部の大川様。ありがとうございました。